

子どもの医療費助成制度の充実を！

市議会には毎議会のように、「子どもの医療費無料化拡充を求める陳情」が市民の方々から提出されます。子育て世代の最も切実な願いは、子育てにかかる経済的な負担軽減です。また、子どもがいつ病気にかかっても費用の心配をすることなく病院で診てもらえることは、安心した子育てを望む親の

心よりどころになります。

熊本市においては、小学3年まで対象年齢を拡充してきましたが、周辺市町村と比べると、まだまだ遅れています。

市長の掲げる「日本一暮らしやすい政令指定都市くまもと」の看板にふさわしく、子育て支援のさらなる充実が求められます。

熊本市と周辺市町村との子ども医療費助成制度の比較

	対象年齢		自己負担
	入院	通院	
熊本市	小学3年まで	小学3年まで	医科3歳以上、歯科5歳以上 1医療機関 月500円
菊池市	中学修了	中学修了	中学生 入院 2,000 円/月、外来 1,000 円/月
益城町	中学修了	中学修了	無
甲佐町	中学修了	中学修了	無
嘉島町	中学修了	中学修了	無
菊陽町	中学修了	中学修了	無
西原村	中学修了	中学修了	無
合志市	小学修了	小学修了	無
宇土市	小学3年まで	小学3年まで	小学生以上 入院 2,000 円/月、外来 1,000 円/月
宇城市	小学3年まで	小学3年まで	小学生以上 入院 2,000 円/月、外来 1,000 円/月

政令市20市のうち16市 入院は中学修了まで助成

入院については政令市20市のうち16市において、中学修了まで医療費助成を実施しています。また、通院でも6市が中学修了まで医療費の助成を行っています。

大型開発を見直せば制度の拡充は可能です

再開発には数百億円 小6までの拡充に必要な費用は2億5千万円

花畑地区では、産業文化会館を取り壊し、広場へと整備するために20億円の税金が投入されようとしています。また、桜町では、300億円もの国際会議場建設計画が進められようとしています。これらの大型開発を見直せば、子ども医療費無料化制度の拡充をはじめ、子育て支援や福祉の充実は十分に可能です。

子ども医療費拡充に必要な費用

小6まで拡充	自己負担そのまま	2億5000万円
	自己負担無	3億3000万円
中3まで拡充	自己負担そのまま	5億円
	自己負担無	6億5000万円



(控室から)
派遣社員は「物件費」?!

なすまどか

一般的に、正社員の給料は「人件費」として計上されますが、派遣社員の給料は「物件費(物品を購入する経費)」として扱われることをご存じでしょうか?

パワハラや長時間労働を強いて、働く人をモノのように使い捨てにする「ブラック企業」が大きな社会問題になっていますが、働かせ方だけではなく、給料の扱いでもこうした区別がつけられています。

派遣社員を物品とみなすことで、派遣を増やせば増やすほど必要経費が計上でき、企業にとって税金が安くなる仕組みです。消費税増税が強行されれば、正社員から派遣への置き換えが、さらに加速されるでしょう。

生身の人間をモノとして扱う社会に希望ある未来は見出せません。日本共産党は、先日、「ブラック企業規制法案」を国会に提出しました。法案には、サービスマン残業など違法行為に対するペナルティー強化、残業時間の規制、ブラック企業の離職率の公表の義務化などが盛り込まれています。

「人間らしく働きたい」——青年をはじめ多くの労働者の切実な思いが政治に通じるよう力を尽くします。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 872

2013年10月27日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

経済委員会視察報告～市議会議員・益田牧子

創意と工夫で「空き店舗」なし、元気な東京都・板橋区 ハッピーロード大山商店街

「一生つきあいします」がモットー

なんと「空き店舗」なし、元気な板橋区のハッピーロード大山商店街を視察でおじゃまし、商店街振興組合顧問の木川健顧問から説明を受けました。

商店街は、アーケードがあり、全長 560 メートルに約 200 店舗が連なり、衣料品、食料品、日用雑貨、カルチャーなど多彩な店が軒を連ねています。お客さんは、1 日約 25000 人で、商圈は半径 1 Km 程度。交通手段は、徒歩・自転車中心の「近隣型」商店街です。

全国ふるさとアンテナショップ

「とりたて村」はおお賑わい

従来のイベントの開催に、限界を感じていた大山商店街は、デパートの物産展がヒントになり、アンテナショップ「とりたて村」を開設。空き店舗を利用して、板橋区と交流のあった全国の自治体の約 20 坪の店内には、16 市町の毎日の生活に密着した、生鮮商品、米、漬物、惣菜などを中心に約 1200 の品目が揃っています。消費者に支持され、採算が取れ、各地の生産者と消費者をつなぐ大事なお店に成長しています。



八代市からも、米、野菜、花卉、果物などが届いていました



ふるさとイベントに 3 万人のお客さん

とりたて村は、商店街組合が運営をしており、物産品販売の他にも、提携する自治体などが商店街に來訪するふるさとイベントを年間 120 日強実施。「お祭り」「郷土芸能披露」「特産品の販売」などのイベントを開催。

これまでには、足湯温泉が登場したり、乳牛を連れてきて搾乳体験をさせたり、都会では味わえないふるさと体験が人気の理由とのことです。イベント開催時には、3 万人お客さんで商店街があふれかえるとのことでした。

ふるさと訪問、修学旅行受け入れも

商店街の企画により、板橋区民が産地を訪れ、そば打ち体験、郷土料理作りや伝統工芸体験など、単なる観光旅行でない、「交流体験型」ツアーも人気です。

地方から中・高校生が、修学旅行で商店街を訪問。町の観光宣伝や特産品の紹介販売、郷土芸能の披露をするなど、様々な交流の輪が広がっています。

地域貢献・被災地の復興支援活動も

東日本大震災の復興支援では、「食べて応援しよう」と石巻の鯖缶詰「希望の缶詰」の販売。女川秋刀魚 1 万匹の販売などを行っています。

2011 年 6 月より、新たな地域コミュニティ拠点として、「ハッピースクエア」をオープン。板橋区社会福祉協議会と提携。視察の時にも、障がい者団体の販売活動が行われていました。



魅力ある商店街づくりの知恵は？

大山商店街では、まちづくり委員会やアーケード管理委員会、などオーナー委員会、売り出し委員会、環境整備委員会などの各委員会が設置され、定例理事会は月 1 回朝 8 時 30 分から開催され、創意・工夫あふれる活動されています。

(大切なこと)

- * 商店街単独では限界
- * 外部の専門的知識の導入連携
- * 他人の意見を良く聞く耳を持つ
- * 地域コミュニティの担い手としての役割